

第24回全日本フルコンタクトテコンドー選手権大会

未来の全日本チャンピオン戦 小学生少女部組手試合 試験的实施

2013年7月16日

日本テコンドー協会

宗師範 河 明生

日本テコンドー協会（以下、JTA）の加盟クラブには、優秀な蹴美の才能が育ち始めている。
未来の全日本フルコンタクト・テコンドー・チャンピオンに成長するであろう少年少女部の逸材である。
華麗な蹴り技の能力=蹴美力に関する限り、
他の打撃系武道団体に在籍する少年少女部と比較しても勝とも劣らない才能と言える。



才能は、好敵手と競い、もまれてこそ開花するものである。
JTAは、未来の全日本フルコンタクト・テコンドー・チャンピオンを育てるため、
少年少女部の選ばれし蹴士達が、格闘技の殿堂・後楽園ホールで輝ける機会を提供すべきである。
そこで第24回全日本フルコンタクト・テコンドー選手権大会において少女部組手試合を試験的に実施する。

ただし、本種目の実施は固定化しない。優秀な選手が存在する限りにおいて実施する。
選拔出場につき内示を与えている蹴美の少女部蹴士は下記の通りである。

ランキング	選抜者名	段位	所属	(指導者)	学年
第1位	福島良菜	初段	福岡筑紫野テコンドークラブ	(福島成勇)	小学校5年生
第2位	宮本音花	初段	大阪鶴橋テコンドークラブ	(飯塚 稔)	小学校5年生
第3位	山本春花	初段審査継続中	長崎佐々テコンドークラブ	(廣川禎教)	小学校4年生
					以上3名

組手ルールは、J T Aライト・テコンドー・ルール少年少女部特別ルールとする。
たとえば、突きは禁止し、フルコン系空手の得意技である回し蹴りは上段・中段ともに禁止する。
ヘッドギアと胴防具を着用しなければならない（近日中に再公開）。

しかし、組手は事故のリスクがある。
選抜されたからといって必ずしも出場する義務はなく、不参加によって生じる不利益は皆無である。
本人が出場する意思が固く、保護者も許可する限りにおいて本種目は成立する。